

復職/就職へのステップ

STEP01 生活リズムを整える

最初は週2日から開始し、少しずつ参加日数・時間を増やしていきます。継続して参加する事で、規則正しい生活リズムを身に付けます。
最終的には週5日×8時間の仕事に行くリズム/体力を身に付けます。

STEP02 復職/就職へのスキルアップ

模擬会社形式で3つの課に分けており、一人一人の課題にアプローチします。
また、心理教育やアサーションSSTや認知行動療法のプログラムも行っています。

STEP03 復職 STEP03 就職

評価表の作成、主治医の意見書を持って職場面談を受けます。
必要に応じて、担当スタッフの同行も可能です。

外部機関(就業・生活支援センター等)を利用し、職場見学/実習を受けながら自分に合った仕事/職場を見つけます。

STEP04 定着支援

復職/就職後、長く働き続けられるように定着支援を行っています。2週間から1ヶ月に1度、デイケアに来ていただき、振り返りを行います。



利用開始まで

- STEP1 まずは、見学の予約をお取りください。施設内の見学・説明を受けていただきます。
- STEP2 見学後、利用を希望される場合は通院されている主治医に紹介状をご依頼ください。
- STEP3 紹介状のご用意が出来ましたら、当院のリワーク担当医の診察を受けていただきます。
- STEP4 リワーク担当医との診察後、リワークスタッフと面談を行い、利用開始となります。

ワーキングデイケアは実際の職場をイメージし「3つの課」に分かれており日中はいずれかの課に所属しその課の業務に取り組みます。

おひとりおひとりの課題や復職後の業務内容、希望の業種に近い訓練に取り組むことが出来ます。

また、心理教育やアサーションSST、認知行動療法等のプログラムで学んだ知識を実際の模擬職場で練習し、復職・就職後に活かす事を目指します。

時には異動や掛け持ちもあり、会社でのコミュニケーションや報告・連絡・相談を意識します。

食品衛生課

模擬会社形式

総務会計課

作業専門課

コミュニケーション+体力

お客様に飲み物を提供する模擬喫茶場面を通してコミュニケーション技能、体力向上、協働場面の練習に取り組んでいます。

事務スキル+持続性

デスクワークを主とし、パンフレットの作成や、必要書類の作成に取り組む事で、集中力・持続性・業務のマネジメントの訓練を行います。

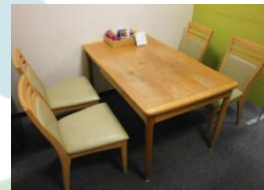
ペースコントロール+集中力

小物類の制作、衣類の修繕、イベント道具の作成に取り組んでいます。個人のペースで作業に取り組むことで集中力を養い、無理のない参加が可能です。

復職/就労準備プログラム

心理検査

ワーキングデイケアでは3種類の心理検査を実施しています。その結果をもとに自身の長や課題を振り返りながら、リハビリの目的を明確化していきます。



CBT(認知行動療法)

考え方のクセを明らかにし、気分が楽になる別の考え方を検討、行動パターンを見直します。グループで行うことで、お互いに体験などを話し合い、自身にも応用できるようになります。

第1回	導入
第2～4回	自己理解
第5～7回	思考の再検討
第8～9回	生活場面での実践
第10回	総括と再発予防



アサーションSST

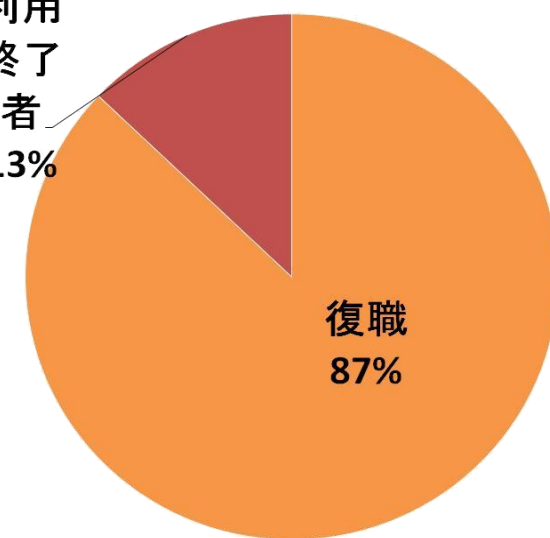
「良い意味」での自己主張が必要となる場面が出てきます。仕事の量の調節や同僚に対しての上手な断り方を練習し、コミュニケーション能力の向上を目指します。

心理教育

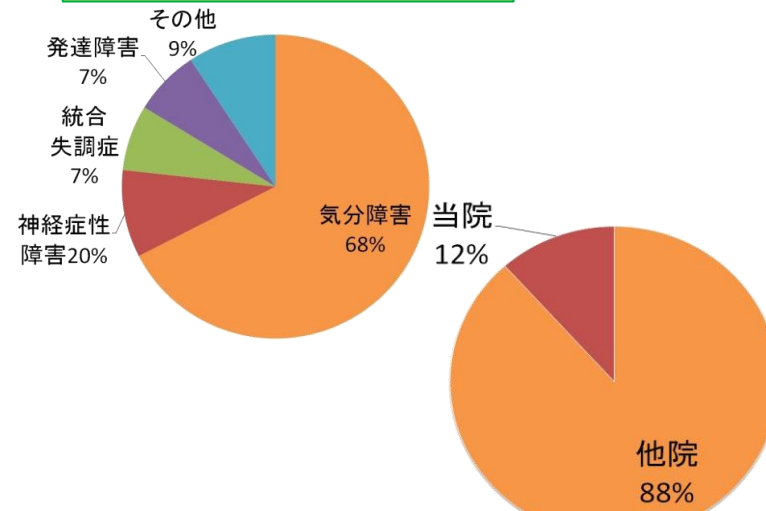
自身の症状を改善・維持していく上で、自身の症状の特徴や「復職してからどのように仕事と生活のバランスをとればよいか？」など必要な情報を提供します。

復職実績(平成28年度)

利用
終了
者
13%



疾患分類(ICD-10)



主治医について